2025 年 8 月 5 日

DIC 北日本ポリマ株式会社

東北工場におけるスクラバー内排水の漏洩について（第二報）

既報のとおり、7 月 29 日（火）22 時 30 分頃、フェノール樹脂などの製造を行う弊社東北工場において、フェノール等を含むスクラバー内排水の漏洩が確認されました。近隣住民の皆様ならびに関係者の皆様には、多大なご迷惑とご心配をお掛けし、深くお詫び申し上げます。

今回の漏洩による人的被害、物的被害及び河川での水質を含む環境への影響が確認されなかったことなどを含め、最終的な調査結果並びに対策等について以下のとおりご報告申し上げます。

記

発生日時・経緯：7 月 29 日（火）22 時 30 分頃 樹脂製造現場のスクラバー（樹脂生産時に発生する排ガスを水で除去する装置）への水補充過多により、フェノールを含む水がオーバーフローし河川に流出していることが判明
通水量(実測値)と独自分析値から 22 時 00 分頃漏洩開始と想定

22 時 37 分頃 工場末端排水弁を閉止
23 時 00 分頃 河川排出弁水門を閉止
23 時 50 分頃 関係官庁へ連絡

発生場所：DIC 北日本ポリマ株式会社 東北工場 第一工場（フェノール樹脂製造現場）
（宮城県刈田郡蔵王町宮新大除 56）

人的被害：確認されませんでした

物的被害：確認されませんでした

環境への影響：関係当局から発表された通り、河川での水質に問題ないことを確認しました

原因と対策：発生要因について
スクラバーへの水補充において手動での作業手順に不備があったため、スクラバー内の水がスクラバー外に漏れ、河川までの流出に至りました

<緊急対策>
スクラバー取扱い作業手順書を見直したうえで、水補充時の確認体制を再整備し、その内容を踏まえた全社員に対する教育を早急に実施します
<恒久対策>
スクラバー水補充の自動化、スクラバー内の水オーバーフローの検知、及びオーバーフローした際の外部流出を防止する仕組みを検討・導入します

生産への影響：関係当局の許可を得て、河川への放流を伴わない一部の製品は生産を開始しています。河川への放流を伴う生産は、関係当局の許可が得られ次第、再開を予定しております

問合せ先：環境安全品質保証部 0224-32-2226

以上